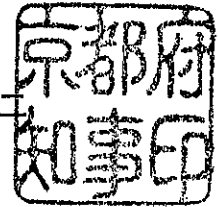


平成 2 6 年 9 月 1 7 日

厚生労働大臣 塩崎 恭久 様

京都府知事 山田 啓二

平成 2 5 年度地域医療再生基金管理運営要領  
に基づく事業実施状況報告について

## 1 基金保管実績

基金の保有区分	年度当初保管額 (A)	年度内異動額 (B)	年度末保管額 (A-B)
譲渡性預金	4,858,681,451円	1,801,804,912円	3,056,876,539円
合計額	4,858,681,451円	1,801,804,912円	3,056,876,539円

## 2 基金運用実績

基金の保有区分	利息額	差益額
譲渡性預金	8,328,533円	8,328,533円
合計額	8,328,533円	8,328,533円

※ 基金の保有形態別に、収入の種別により記載する他、内訳を添付すること。

## 3 基金事業実施状況（京都府地域医療再生計画）

別添様式 2 ・別表のとおり

## 4 添付資料

- (1) 当該年度の歳入歳出決算（見込）書抄本
- (2) 目標達成シート（別紙様式 3）
- (3) その他参考となる資料

(1)平成21年度交付要綱第4の別表の地域(丹後医療圏)

(ア)事業実施報告

(単位:円)

地域医療再生計画	事業者名(施設名等(開設者名を含む))	平成25年度実施事業内容	平成25年度事業予定額	平成25年度事業費			
				都道府県助成額	うち再生基金 充当額	事業者負担額	
①都道府県単位の事業							
(1)のアの①	府立医科大学	「医療センター」の機能強化・「地域専門医療講座」の開設	57,344,000	41,774,885	41,774,885	41,774,885	0
(1)のアの②	府立医科大学、京都府	府立医科大学の定員増、奨学金(地域枠)の増加等	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	0
(1)のアの④	府立医科大学	医師・看護師確保困難地域における医学生等の臨床実習等	8,500,000	8,010,000	8,010,000	8,010,000	0
(1)のアの⑥	京都府	ITを活用した病診連携システムの構築・運用(ドクターズネット、クリティカルパス)	17,157,680	17,139,774	17,000,000	17,000,000	139,774
(1)のアの⑦	府医師会、府歯科医師会	在宅医療対応力向上のためのかかりつけ医の研修、多職種連携システムの普及指	13,035,071	13,222,542	13,000,000	13,000,000	222,542
(1)のイ	京都府等	院内保育所の設置促進、看護学生への修学資金の貸与、看護師の早期復職支援	58,885,000	45,136,000	40,387,000	40,387,000	4,749,000
②当該地域における事業							
(2)のアの②	丹後医療圏の病院	高度医療研修、学会への参加支援	5,000,000	730,000	730,000	730,000	0
(2)のアの④	京都府看護協会	看護師復職特別講習等の実施	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	0
(2)のアの⑥	丹後医療圏の診療所	診療所設備の高度化支援	70,773,063	70,626,213	34,913,000	34,913,000	35,713,213
(2)のイの②	京都府	4疾病・5事業等への特別対策実施(北部看護拠点整備、共同利用型電子カルテ等	400,178,000	332,656,950	262,570,000	262,570,000	70,086,950
合計			650,272,814	548,696,364	437,784,885	437,784,885	110,911,479

(イ)地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

(府全域事業)

- ・「総合医療・医学教育学講座」設置事業:「総合医療・医学教育学講座」により、総合的な診療能力を備え、地域医療を支える人材を育成する体制を構築
- ・地域枠、医師確保奨学金定員の増:府立医大の地域枠及び奨学金定員の2名増
- ・地域医療教育推進事業:府北部病院において地域医療教育推進事業を実施(参加者 医学生104名、看護学生42名)
- ・病診連携システム構築等事業:47病院に専用機器を整備
- ・院内保育設置推進事業:既存の支援制度の対象とならない小規模の院内保育所4箇所に対して助成。病児保育施設3箇所に対して助成。

(丹後医療圏事業)

- ・高度医療研修等キャリア形成支援事業:高度医療研修、学会への参加支援を実施
- ・診療所設備高度化事業:18診療所に整備
- ・4疾病5事業等強化事業:丹後地域の4病院において共同利用医療機器を整備

## (2)平成21年度交付要綱第4の別表の地域(中丹医療圏)

## (ア)事業実施報告

(単位:円)

地域医療再生計画	事業者名(施設名等(開設者名を含む))	平成25年度実施事業内容	平成25年度事業予定額	平成25年度事業費				
				都道府県助成額	うち再生基金 充当額	事業者負担額		
①都道府県単位の事業								
(該当なし)								
②当該地域における事業								
舞鶴市域病院強化	舞鶴医療センター	病棟、手術棟新築、設備整備(脳卒中、周産期機能)	98,662,750	98,662,750	45,458,000	45,458,000	53,204,750	
	舞鶴こども療育センター	舞鶴医療センター隣接地へ移転新築(小児医療)	533,160	533,160	533,160	533,160	0	
	舞鶴共済病院	設備整備(循環器センター機能)	224,595,000	224,595,000	112,297,000	112,297,000	112,298,000	
	舞鶴赤十字病院	病棟増築、設備整備(回復期病棟整備、リハ機能)	291,016,293	291,016,293	126,714,000	126,714,000	164,302,293	
	緊急時放射線検査施設	施設整備、設備移転(舞鶴日赤に検査機能整備)	19,446,848	19,446,848	19,446,848	19,446,848	0	
	舞鶴市民病院	舞鶴日赤隣接地へ新築移転(療養特化)	503,150,000	503,150,000	50,000,000	50,000,000	453,150,000	
			0	0	0	0	0	
合計			1,137,404,051	1,137,404,051	354,449,008	354,449,008	782,955,043	

## (イ)地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

- ・舞鶴医療センター:7月に基本・実施設計を終え、12月に発注業務を完了(入札不調のため2回実施)、平成26年1月に建設工事に着手し平成27年6月に工事完了予定
- ・舞鶴こども療育センター:平成26年2月に基本・実施設計が完了し、8月に発注業務を完了、平成28年1月に工事完了予定
- ・舞鶴共済病院:平成25年度は既存棟に2台設置、平成26年9月中に既存棟改修後2台を既存棟内で移設するとともに、アンギオ装置を1台購入
- ・舞鶴赤十字病院:6月に基本・実施設計を終え、9月までに医師住宅の解体工事後、10月に建築工事に着手し、平成26年7月に工事完了
- ・緊急時放射線検査施設:10月から施設整備に着手し、平成26年7月に整備完了
- ・舞鶴市民病院:4月から建設工事に着手し、平成26年2月に工事完了

(3)平成23年度(22年度からの繰越分)交付要綱第4の別表の地域(三次医療圏分)  
(ア)事業実施計画

(単位:円)

地域医療再生計画	事業者名(施設名等(開設者名を含む))	平成25年度実施事業内容	平成25年度事業予定額	平成25年度事業費			
				都道府県助成額	うち再生基金充当額	事業者負担額	
①都道府県単位の事業							
「ICTを活用した健康・医療連携システムの構築」に関する事業-地域ICT推進事業	国保連合会等	○検討会の設置・運営 ○モデル地域における運用実験 ○地域の疾病構造や医療提供等の状況を分析	60,000,000	59,669,232	59,632,232	59,632,232	37,000
「ICTを活用した健康・医療連携システムの構築」に関する事業-予防接種広域化事業	京都府医師会等	システム構築	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	0
救急医療体制基盤整備事業	府立与謝の海病院	救急室等の環境の整備等(工事)、救急用医療機器の整備	671,956,000	591,468,550	591,468,550	364,539,525	0
	2次救急医療機関、福知山市市民病院等	2次救急病院の自家発電装置及び救急医療機器等の整備、福知山市市民病院における救急処置室等の整備、その他救急医療体制基盤整備に係る人材育成策、設備等整備	1,486,811,400	1,403,225,400	468,934,000	468,934,000	934,291,400
がん対策推進事業-がん対策府民会議の設置等	京都府	たばこ対策、検診、情報提供関係府民運動	57,900,000	19,970,000	19,970,000	19,970,000	0
先進治療機器等整備事業	京都府立医科大学等	放射線照射装置(ラルス)を整備	350,000,000	350,000,000	350,000,000	350,000,000	0
緩和ケア体制等整備事業	京都府がん診療連携拠点病院等	緩和ケア病棟整備・運営開始	184,000,000	184,000,000	74,000,000	74,000,000	110,000,000
総合リハビリテーション人材確保育成事業	京都府	・リハ専門職に係る就業フェアの開催、高校の進路指導担当者への職業紹介、資質向上研修等を実施 ・理学・作業療法士、言語聴覚士(新規)養成校の在学者への修学資金の貸与を実施	48,050,300	48,050,300	47,343,000	47,343,000	707,300
地域リハビリコーディネート事業	京都府	・在宅療養者へのリハビリ充実に必要なリハビリ機器や機能訓練室等の設備整備を実施 ・地域リハビリ支援センターへの専門的なコーディネーターの配置、退院後リハの調整を支援	17,500,000	17,500,000	17,500,000	17,500,000	0
回復期リハ病床整備事業	回復期リハビリ病棟を開設する医療機関	回復期リハ病床を整備する際に必要となる機能訓練室等整備への補助	55,359,000	61,201,767	28,130,000	28,130,000	33,071,767
訪問リハ、訪問看護推進事業	府内各訪問リハ事業所	なし					
	訪問看護ステーション事業者	・訪問看護ステーション事業所開設等に係る備品整備に補助を実施	16,463,000	16,463,000	16,463,000	16,463,000	0
在宅療養あんしんサポート事業	府内各「在宅療養あんしん病院」指定病院等	府内各「在宅療養あんしん病院」指定病院が実施する啓発事業等に対し補助を行った。	43,490,000	43,202,000	43,202,000	43,202,000	0
	京都府	在宅療養あんしん病院登録システムの運用及び管理、普及・啓発事業	27,000,000	24,554,888	24,554,888	24,554,888	0
高次脳機能障害者支援事業	京都府	自ら医療、福祉のサービスを利用できない在宅高次脳機能障害者の生活支援のため、訪問支援を実施	4,097,093	4,097,093	4,097,093	4,097,093	0
合計			3,027,626,793	2,828,402,230	1,750,294,763	1,523,365,738	1,078,107,467

(イ) 地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

- ・広域救急医療支援事業-南部ドクターヘリ導入事業は、場外離着陸場の調査委託の実施及び消防機関・医療機関等との調整会議の開催により、平成24年9月中の運航開始に向けて環境整備を行った。
- ・がん対策推進事業-がん対策府民会議の設置等は、府内関係団体(138団体)が参加する府民会議を立ち上げ、民間企業と連携したがん検診の啓発を行うとともに、受動喫煙を防止するための府民憲章を策定するなど、関係者と連携してがん対策を進める環境を整えた。
- ・総合リハビリテーション人材確保育成事業は、リハ専門職に係る就業フェアの開催(1回)、福祉職場等就職フェアへのリハ専門職就職相談ブースの開設(3回)、高校の進路指導担当者への職業紹介(府立高校57校)、資質向上研修(28回、受講者1,691名)、医療機関等での受入研修(13施設、受講者50名)、少人数職場・摂食嚥下等巡回相談指導(40施設、訪問回数148回)を実施し、また、理学・作業療法士、言語聴覚士(新規)養成校の在学者で卒業後府内への就業を希望する者(77名)への修学資金の貸与を実施した。
- ・地域リハビリコーディネート事業は、地域リハビリ支援センターへ地域のリハサービス資源等に精通したコーディネーター(平成23年度7名・7箇所、平成24年度8名・8箇所)を配置し、地域包括支援センター等に対するリハサービスの助言相談(314件)、リハビリ従事者への訪問指導(262回)、リハサービス窓口担当者との事例検討会の開催(29回、参加者数469名)等を実施し、地域リハ連携体制を構築するとともに、在宅療養者への適切なリハサービスの提供及びリハビリ従事者の実技訓練の充実を図るため、地域リハビリ支援センターのリハビリ機器や機能訓練室等の設備整備(8箇所)を実施した。
- ・訪問リハ、訪問看護推進事業は、訪問リハサービス事業所開設・事業拡張に係る備品整備に補助(6箇所、合計4,608千円)を実施し、訪問看護ステーション事業所開設等に係る備品整備に補助(18箇所、合計9,588千円)を実施した。
- ・在宅療養あんしんサポート事業は、府内各「在宅療養あんしん病院」指定病院が実施する啓発事業等に対し補助(134箇所・合計43,202千円)を実施し、また、「京都地域包括ケア推進機構」が実施する在宅療養安心サポート事業の普及啓発活動に補助(30,110千円)を実施した。
- ・府立与謝の海病院において、地域の中核となる二次救急医療機関として救急機能等の底上げを図るため、救急室拡張工事や救急関連医療機器の整備等を実施

(4)平成25年度交付要綱第4の別表の地域(平成24年度補正分)

(ア)事業実施計画

(単位:円)

地域医療再生計画	事業者名(施設名等(開設者名を含む))	平成25年度実施事業内容	平成25年度事業予定額	平成25年度事業費			
				都道府県助成額	うち再生基金充当額	事業者負担額	
①都道府県単位の事業							
京都式地域医療人材教育・育成システム推進事業	府北部の公立・公的病院	人材育成センターの設置、研究・研修機器等を整備	161,514,584	161,514,584	158,000,000	158,000,000	3,514,584
きょうと健康長寿なまちづくり支援研究センター設置事業	府北部医療センター	推進会議を開催、研究機器等を整備	5,190,567	5,190,567	5,000,000	5,000,000	190,567
がん対策推進事業	府立医科大学	がん医療提供体制整備構想の策定緩和ケア推進センター開設準備	4,855,000	4,861,727	4,855,000	4,855,000	6,727
がん対策推進事業	公立南丹病院	放射線治療機器整備実施設計	9,970,000	9,019,500	4,509,000	4,509,000	4,510,500
小児・周産期医療確保事業	府立医科大学・府内医療機関等	京都府立医科大学附属病院に小児科医を配置、連携ソールの作成	3,500,000	2,583,002	2,583,002	2,583,002	0
在宅医療連携体制の推進事業	京都府	認知症連携推進協議会の設置に向けた認知症ポータルサイトの開設及び運営。	2,500,000	2,497,686	2,497,686	2,497,686	0
在宅医療連携体制の推進事業	京都府	看取りネットワークの構築。	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	0
京都リハビリテーション総合推進事業	京都府リハビリテーション教育センター	リハビリテーション医等の養成教育システムを構築するために、京都府リハビリテーション教育センターを設置	13,000,000	13,000,000	13,000,000	1,000,000	0
障害者への診療体制等整備事業	府歯科医師会	府北部地域における障害者のための歯科診療所整備	0	0	0	0	0
高次脳機能障害・発達障害者に対する支援体制整備事業	京都府	高次脳機能障害に特化した生活訓練事業所を府立心障センターに整備発達障害児者への診療・相談体制を充実	9,969,193	9,969,193	9,969,193	9,969,193	0
地域保健・医療連携推進事業	京都府	保健指導取組強化の広域連携・共同化等の協議	500,000	480,502	480,502	480,502	0
高度救急医療・災害時救急医療体制整備事業	京都第一赤十字病院、舞鶴医療センター	大規模災害発生におけるDMATの現場活動及び北部地域の高度救急医療体制構築を支援するため、DMATカー・ドクターカーを配備	60,000,000	60,000,000	60,000,000	60,000,000	0
医師会と連携した亜急性期以降の医療体制整備事業	府医師会	地域の医師をJMAT京都として登録し、災害医療研修や災害医療技術向上機器整備により、急性期以降の医療体制を構築	30,000,000	30,000,000	30,000,000	30,000,000	0
合計			302,499,344	300,616,761	292,394,383	280,394,383	8222378

(イ)地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

- ・京都市地域医療人材教育・育成システム推進事業:北部公的10病院による医師定着・育成のため、北部医療センターに人材育成センターを設置・運営するとともに、合同研修等のための研修用機器等を整備
- ・京都府立医科大学附属病院に小児科医を配置、連携ツールを作成し、周産期医療の質の向上及び在宅医療を支える基盤を整備することができた。
- ・在宅医療連携体制の推進事業(機構)については、認知症連携推進協議会の設置に向け認知症ポータルサイトを開設した。また、誰もが終末期の生き方を選択し安心して人生の最終章を過ごせる看取りネットワークの構築に向け、部会を設置してプランを検討した。
- ・きょうと健康長寿なまちづくり支援研究センター設置事業:総合医を目指す若手医師を確保するため、市町村等から構成する推進会議を設置・運営するとともに、研究に必要な機器を整備・行政と大学、医療関係団体、リハ関連病院が一体となって、「京都府リハビリテーション教育センター」を創設し、リハビリを担う、リハ医、リハ専門職の養成と府内定着を推進するため、座学研修会(参加者数延べ408人(2回))を実施した。
- ・障害者への診療体制等整備事業については、地元市町、府歯科医師会と協議を進め、整備地の確保、建物の改修工事、運営方法等を検討した上で、整備事業を進めた。整備完了、開始までには、期間を要するため、25年度に執行せず、次年度において対応することとした。
- ・高次脳機能障害・発達障害者に対する支援体制整備事業においては、高次脳機能障害に特化した生活訓練事業所を府立心障センターに整備するとともに、府精神保健福祉総合センター内の京都府発達障害者支援センター「はばたき」について専用の相談室の整備を行い、これらの障害者への医療から福祉、相談までの支援体制の拡充を図った。
- ・南海トラフ地震に備え、DMATカーを配備し、被災地へ移動できる体制を確保
- ・周産期母子医療サブセンター(北部ブロック)にドクターカーを配備し、重篤新生児搬送体制を確保
- ・災害時に亜急性期を担う府医師会が取り組むJMATを支援